

天狗岩

天狗岩は、福渡橋の近くの箒川に面した三角形の大きな岩壁である。それは、主に火山灰で形成された堆積岩「グリーンタフ」でできている。グリーンタフの広域地帯は、日本の本島である本州の北西側に沿って数百キロメートルにわたって伸びてゐる。

言い伝えによると、天狗と呼ばれる超自然的な生き物がこの岩の上に住んでいたとがあり、ある日、仏僧である空海（774～835 年）が下の道を通りかかったとき、天狗が空海に炎を投げつけたという。空海はこのいたずら好きの天狗に巨大な玉石を投げつけて懲らしめ、それ以来この地域は平穏であったと言われている。